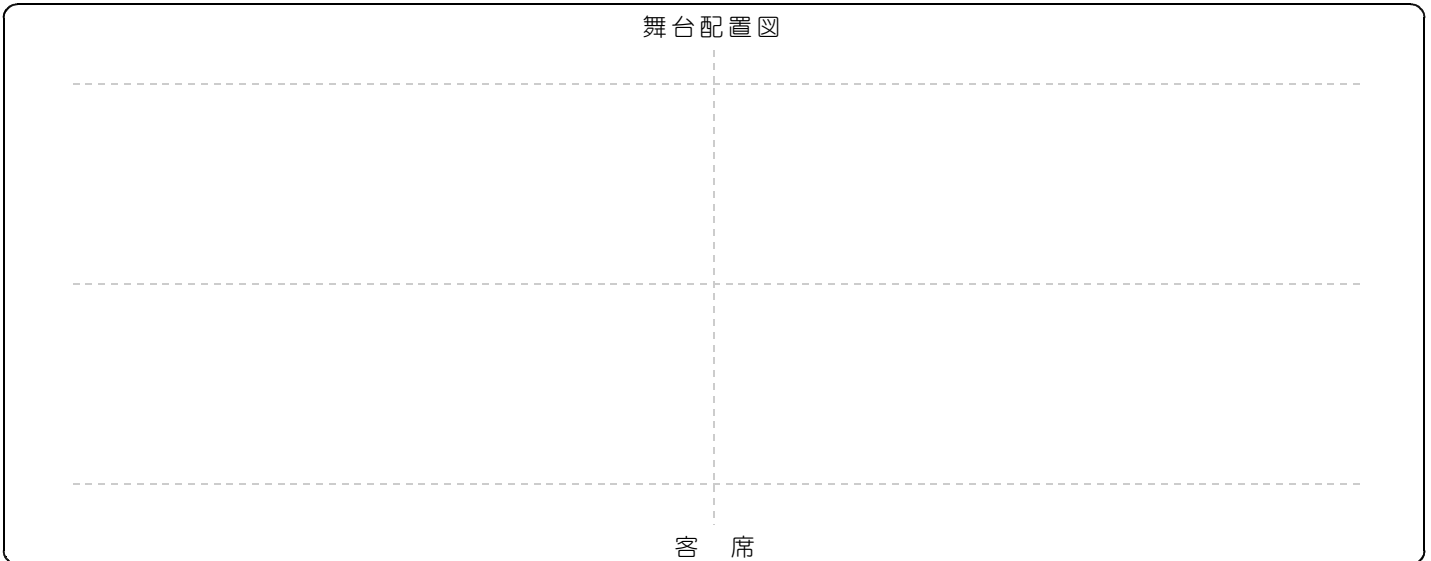


No.	めぐりめぐる	演奏者数	演奏時間
-----	--------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44		編成：17絃-1							17絃-2							
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7
17-1	A	E	G	A	B	C	D	E	G	A	B	C	D	E	G	A	B
17-2	17絃 1 と同調絃																

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1991年 委嘱者 藤本瞳 構成 十七弦 I・II 時間 11分 出版楽譜 無し

解説 十七弦は近年ソロ楽器としての機能を発揮して注目をあびている楽器ではあるが、この楽器での二重奏曲はまだ少ない。それはこの楽器によって低音どうしのぶつかり合いからは美しい響きを創ることが難しいし、それに爪が弦に触れる時に派生する不用なノイズも楽器が二面になればそれだけ倍増する。そういったことを巧く解決するのが困難であるというところに作曲への迷いが集中するからかもしれない。私もそういった事実を頭に置いて、この曲を書いたつもりではあるが、実際には、それをクリアするまでには至らなかった。結果的にこの曲は私なりの、この楽器への理解度の範囲内で完成されている。タイトルが“めぐりめぐる”は第一章に於いて四小節を単位とする和音の進行が24回に渡って繰り返されることによる。1991年作曲。〔作曲者〕収録媒体ー